

# 施策評価表

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（課長等）	2年 7月 22日
2次評価日（部長等）	2年 7月 22日

## 1 施策の概要

施策名	ブランドの振興	コード	8-1
この施策の主な内容	岡谷ブランドの構築、岡谷ブランドの発信、新たなシルク文化の創造		
第5次総合計画におけるこの施策の目的	「岡谷ブランドブック」に基づき、「湖に映える、美しいものづくりのまち」をコンセプトとした岡谷ブランドの構築を図り、市民が愛着と誇りを持ち、住み続けたいと思うまちに育て、また地域外の人には来訪や購買、移住意欲を促進する。		
担当部課	部 産業振興部	課等	ブランド推進室
作成者	日岐 充利		

## ●施策の実施内容 (D0)

### 2 施策指標の達成状況

\* 第5次総合計画における目標指標の達成状況(前期基本計画:元年度~5年度)

施策指標名	単位	29年度	30年度	元年度			2年度	5年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 岡谷ブランドブックアクションプラン取組件数	件	13	13	13	13	100.0%	13	20
指標説明	岡谷ブランドブックに掲げたアクションプランのうち実施した件数							
②						-		
指標説明								

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位:千円

	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
直接事業費	1,819	8,113	15,932	16,979
人件費	13,600	13,600	13,600	13,600
合計コスト	15,419	21,713	29,532	30,579

## ●施策の評価 (CHECK)

### 4 施策の現状評価

\* 元年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調/不調の判断

シルクの歴史や文化、豊かな自然などの地域資源を活かした魅力ある地域づくりを進めるため、おかやブランドプロモーション協議会により「岡谷ブランドブック」のコンセプトである「湖に映える、美しいものづくりのまち」として岡谷ブランドの構築を図るとともに、岡谷ブランドの発信拠点である「蚕糸博物館」を核に、「岡谷らしさ」を全国に向けて情報発信している。

シルク岡谷の歴史と文化を伝承するとともに、養蚕から製糸、製品化までが市内で完結する、岡谷市ならではの環境を生かし、岡谷ブランドの核となる「オール岡谷産」のシルク製品開発と新たなシルク体験の創造を目指すため、地域おこし協力隊とともに事業に取り組んでいる。

\* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み/弱みとなる要因

岡谷市の強み	諏訪湖をはじめとした豊かな自然やシルク資産、ものづくり、文化、食など地域の特色ある地域資産が存在する。 首都圏や中京圏からのアクセスもよい。
岡谷市の弱み	首都圏・中京圏での岡谷市の認知度はあるものの、若年層（特に女性）の認知度が低い。 地域資源を活用した岡谷ならではのブランドの確立、提供がされていない。

## 5 今後の外部環境の変化

\* 令和3年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	新型コロナの影響により生活や働き方を考え直す人が増え、都市部から地方に住まいを移す動きが広がっているため、関心を持つ多くの人に岡谷市の魅力や暮らしやすさを伝える機会となる。
不利に働くもの	首都圏・中京圏への移動制限などにより、現地での展示会や体験会などのPRができない。

## ●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

### 6 令和3年度 施策を構成する事務事業の方向性

#### ●基本的な考え方

\* 優先して実施する分野=優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \* 見直しを行う分野 =優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	養蚕から製糸、製品化までが市内で完結する、岡谷市ならではの環境を生かした、「オール岡谷産」のシルク製品開発と新たなシルク体験の創造など、岡谷のシルク資産を軸に、文化、ものづくりなど様々な資産を活用した魅力あるまちづくりを推進する。
見直しを行う分野	岡谷ブランドの推進のため、「湖に映える、美しいものづくりのまち」をブランドコンセプトとしている「岡谷ブランドブック」のアクションプランを検証するとともに、社会情勢や地域の現況などを整理したうえで、おかやブランドプロモーション協議会を通じて再度、地域として岡谷ブランドの推進に取り組む意識共有を図る。

#### ●令和3年度の優先度

\* 方向性が「継続」の事業についてA~Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標			妥当性	方向性	優先度		
					指標名	単位	29年度				29年度	29年度
							30年度				30年度	30年度
							元年度				元年度	元年度
2年度(目標)	2年度(予算)	2年度(予算)										
1		一般	なし	ブランド推進事業	岡谷ブランドアクションプラン取組件数	件	13	1,319	11,200	高い	継続して実施	B：現状維持
							13	7,613	11,200			
2		一般	なし	蚕糸業対策事業	イベント参加者数	人	1,919	500	2,400	高い	継続して実施	B：現状維持
							3,577	500	2,400			
3												
4												
5												